



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集：全難聴事務局
電話：03(3225)5600
FAX：03(3354)0046
URL：<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennacho@zennancho.or.jp

権利条約批准へ向けて

2006年12月に国連で採択された「障害者権利条約」は、障害者の全ての人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し保護し、確保すること、障害のある人の固有の尊厳の尊重を促進することを目的とする国際的原則です。現在138カ国が批准しています。

採択の翌年、2007年に署名した日本は、拙速な批准を避け周辺の法整備を障がい者制度改革推進会議、総合福祉部会、差別小委員会を中心に進めてきました。これにより期は熟したということで今国会に閣議決定に基づき上程され、11月19日の衆議院本会議において、「障害者の権利に関する条約の締結について承認を求めるの件」として承認され、参議院に送られました。11月28日参議院での審議が行なわれ、参考人の意見陳述、参考人への質疑が行なわれています。承認されれば、批准書を作成する段取りです。

遡ること2001年に国連総会で制定が決まった同条約は、特別委員会を重ねて条文の整備を進めました。全難聴は、これまで起草段階より、ロビー活動を行うために、以下のとおり担当者を国連に派遣してきました。

- 1回目：2005年(平成17年)7月31日から8月7日
第6回特別委員会
 - 2回目：2006年(平成18年)1月18日から1月22日
第7回特別委員会(サイドイベント開催)
 - 3回目：2006年(平成18年)8月16日から8月20日
第8回特別委員会(サイドイベント開催)
- (瀬谷理事より)

サイドイベントでは、外務省の後援、JDF、国際難聴者連盟との協力の下、発表、提言を行いました。

障害者基本法改正から、総合支援法、差別解消法と続く流れの結実として、権利条約批准にいたることになり、長きに渡る努力の成果がやっと実ることになります。

批准への意志の現れといえる「署名」が行われた2007年9月から6年の歳月が過ぎました。



次回の委員会審議は、12月3日(火)とのこと。

📌 要約筆記事業研修会 in いわて開催（11月23日～24日）

2013年度全難聴要約筆記事業研修会は、岩手県視聴覚障がい者情報センター：（通称アイーナ）にて開催されました。

参加者は岩手県を中心に関東のみならず東北、北海道から111名が二日間の研修会に集まりました。

今年度より新しい理事長に交代した（特非）岩手県中途失聴者・難聴者協会との共催です。



はじめに、**藤谷理事**が研修会の趣旨と要約筆記事業の変遷、そして東北ブロックでの開催理由について述べました。



続いて厚生労働省自立支援室から新しく着任された鈴木専門官が登壇され、意思疎通支援事業の内容、そして都道府県と市町村の役割分担について、詳細な資料とともにお話されました。

専門官は今春、児童福祉分野から自立支援振興室に着任されたことも踏まえてお話をいただきました。

続いては、**高岡理事長**が総合支援法における要約筆記事業や要約筆記者派遣モデル実施要綱等に対して、全難聴、各協会としてどう取り組むのかについて、平易に説明しました。

2日目は、**荒川理事**より「全難聴・全要研の統一試験と情文の指導者養成研修の概要」。

青森県の**工藤理事**から「東北ブロックにおける要約筆記事業の現状について」を「あまちゃん」のスライドを交えて報告いただきました。

昼食後は**佐野事務局長**による「要約筆記事業の発展のために～情報提供施設の役割、関係団体との連携」について。

藤谷理事による全難聴黎明期の画像を含めたスライドを使用しての「難聴者運動と要約筆記の歴史からみえる要約筆記事業」のモデル講義と体験的要約筆記活用発表が行われました。





情報センター 山崎所長

今回の事業研修会は、手話通訳者、要約筆記者合わせて延べ40名の支援がありましたが、本年10月より県派遣事業を開始したことから岩手県の公費派遣を受けられました。本研修会の必要性と意義をご理解いただいた県障害福祉課、情報センター山崎センター長はじめ職員、関係の皆さまの協力に感謝いたします。また、新しく**岩手県協会理事長**になっ



岩手県協会 佐々木理事長

た**佐々木輝男**さんの継続的なご尽力、ご努力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

↑ IAUD アワードにて「UD 手書き」表彰



国内最大の UD 推進団体である国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD) は、UD 推進に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体・個人を表彰する「IAUD アワード」を実施しています。その IAUD アワード 2013 において、**川井副理事長**が先頭になり、開発協力を行ってきた「UD 手書き」が「**コミュニケーションデザイン部門 金賞**」を受賞しました。

以下受賞審査講評です。

●スマートフォンやタブレットコンピューターなど身近な IT 端末を活用した、非常にシンプルでエレガントな効果の高いコミュニケーションツールです。「UD 手書き」は、聴覚障害者と健聴者との様々な状況での「会話」を容易にしました。音声認識技術と、ユーザーに使い易い手動による文字入力を一緒にすることで、すぐに画面上で会話をすることができます。音声認識技術により、テキスト入力に慣れていない聴覚障害のない人々にとっても、コミュニケーションがより楽になりました。さらに、顧客サービスの場では特に重要であり、スマート携帯端末を使った、筆談によるコミュニケーションが一般化する第一歩となるでしょう。

審査員は、既製の携帯端末とシンプルなインターフェイスというどこにでもある技術を使用することで、慢性的なコミュニケーションの問題を解決することに感銘を受けました。

開発過程においては**ユーザーグループ**との幅広い調査が行われており、小さな会社によって開発され、現在も使用できる範囲には制限がありますが、この取り組みの普及に必要な資金を確保し、すべてのスマートフォンやタブレットコンピューター、さらにはあらゆる言語でも同様に機能できるようになれば、世界市場でも成功すると確信しています。●



開発のプラスヴォイス、シャムロック、川井、アドバンスメディアのドリームチーム

📌 理事の動き（11/1～11/30）

- 11月7日 情報文化センター評議員会（高岡）
- 11月9日 日本まちづくり学会シンポジウム（川井）
- 11月9日 事業研修会講師会議（高岡、佐野、藤谷、荒川）
- 11月12日 消防庁火災警報装置に関する検討部会（川井）
- 11月12日 JDF 代表者会議（高岡）
- 11月12日 JDF 民主党ヒアリング（新谷）
- 11月12日 聴覚障害者中央拡大本部（高岡、佐野）
- 11月16日 全難聴第2回理事会（各理事）
- 11月20日 警視庁運転免許課懇談（小川）
- 11月21日 国際ユニヴァーサルデザイン協議会式典（川井）
- 11月23日～24日 第3回要約筆記事業研修会岩手（高岡、佐野、藤谷、荒川）
- 11月23日 情報アクセスシンポジウム（川井、小川）
- 11月26日～27日 兵庫県補習研修（佐野）
- 11月27日 JDF 厚労省との意見懇談会（新谷）
- 11月28日 障害者権利条約批准参議院参考人審議（傍聴者：高岡、小川）
- 11月28日 JDF 幹事会（新谷）
- 11月28日 JDF 郵便制度説明会（新谷）
- 11月29日 厚生労働大臣表彰プレスリリース
（高木富生理事が厚生労働大臣表彰受賞決定）

📌 事務局報告

- 11月5日 理事会議案書発送
- 11月9日 日本まちづくり学会シンポ（横浜）
- 11月11日 厚生労働省主管課長会議
- 11月13日 事業研修会事前資料発送
- 11月16日 全難聴第2回理事会（戸山サンライズ）
- 11月21日 国際ユニヴァーサルデザイン協議会式典（横浜）
- 11月22日～24日 第3回要約筆記事業研修会（岩手）
- 11月27日 意思疎通支援アンケート調査
- 11月29日 全難聴だより No. 66 発行

《予定》

- 12月4日 JDF 全国フォーラム（東京・灘尾ホール）
- 12月4日 JDF 障害者権利条約批准を祝う会
- 12月5日 視聴覚関連4団体勉強会
- 12月9日 厚労省ヒアリング
- 12月12日 厚生労働大臣表彰式典
- 12月13日 内閣府第9回障害者政策委員会
- 12月20日 補聴器協議会
- 12月23日 全難聴全要研定期協議会（名古屋）
- 12月27日 全難聴便り No. 67 発行
- 12月27日 全難聴機関誌「難聴者の明日」発送

事務局年末年始休業 12月28日(土)～1月5日(日)

全難聴ロゴマーク選定

10月31日に応募締め切りをした全難聴ロゴマーク募集に対し、総数424件のエントリーがありました。

第1次審査の後、現在、第2次審査が行なわれています。

素晴らしい作品をお送りいただいた皆様、誠にありがとうございました。

結果発表は、近日中にHPで行います。

また優秀賞の表彰は、来年1月に開催されます「福祉大会 in おきなわ」で行います。